

サポート会員・利用会員さんへ

★新学期にむけて説明会の日数を増やしました。お知り合いに興味のある方がいらっしゃいましたら、お声かけのうえご参加ください。

サポート会員さんへ

★毎月、活動報告書の提出ありがとうございます。3月は年度末の為、活動が終了次第速やかに報告書の提出をお願いいたします。

報告書に記載して頂く援助内容区分は、22年度のオレンジ色の区分表に添ってご記入願います。

利用会員さんへ

★援助がなくなった時や終了する時には必ずセンターにご連絡の上、あわせてサポート会員さんにもご挨拶くださいますようお願いいたします。

★お子さんの通園先・通学先が変わった方や住所や電話番号・お子さんの誕生など登録時の内容に変更のある方はセンターまでご連絡ください。



今後の予定表

3月 5日(土)	事業説明会	和泉児童館	午前10時30分から
3月18日(金)	事業説明会	和泉児童館	午前10時30分から
4月 9日(土)	事業説明会	和泉児童館	午前11時から
4月22日(金)	事業説明会	和泉児童館	午前11時から
5月 7日(土)	事業説明会	岩戸児童センター	午前11時から
5月11日(水)	サポート会員講習会	和泉児童館	午前10時から
5月12日(木)	サポート会員講習会	和泉児童館	午前10時から
5月13日(金)	サポート会員講習会	和泉児童館	午前10時から
5月18日(水)	サポート会員保育体験	和泉児童館	午前10時から
6月11日(土)	事業説明会	和泉児童館	午前11時から
6月22日(水)	サポート会員 ステップアップ講習会	和泉児童館	午前10時30分から
7月 2日(土)	事業説明会	和泉児童館	午前11時から

★予定は変更されることがあります。参加を希望される際は、センターまでお問い合わせください。

<http://fukushi.unchusha.com/izumi/family/index.html> / TEL03-3480-1587

〈アドバイザーのつぶやき〉

今年の夏の暑さもすっかり忘れ「寒い! 寒い!」と連発するものの、『今日はどんなママやちびっこに出会えるかな?』と楽しみにしながら自転車を走らせて打ち合わせに向かいます。もうすぐ春ですね。(^ v ^)

ふあみさぽ通信 NO.23



発行/狛江市ファミリー・サポート・センター(指定管理者: 社会福祉法人 雲柱社)

〒201-0012 狛江市中和泉 3-12-6 TEL03-3480-1587 / FAX03-3480-1732

<http://fukushi.unchusha.com/izumi/family/index.html>

今年の冬は寒さが厳しく、インフルエンザの影響で市内の保育園や小学校でも学級閉鎖がチラホラ。「氷が溶けて春になるんだよ!!」と保育園のチビッコから教えられました…サポート会員講習会で講師の先生から聞いたお話です。子どもの素晴らしい感性と春の訪れを知らせる素敵な言葉ですね!

第3回“ステップアップ講習会”のご報告

本年度最後のサポート会員ステップアップ講習会は、「障がい児を知ろう!」第3弾として障がい児をお持ちのママ達を和泉児童館にお招きして、サポート会員さんとの茶話会を開催しました。お母様手作りの資料に感動し、ちょっぴりだけママ達の気持ちに寄り添えたような参加者全員が嬉しいひとときでした。(^ - ^)

平成22年度 サポート会員ステップアップ講座
「障がい児を知ろう」 第3弾
「ママと話そう!!」
親睦茶話会
平成23年1月17日(月) 10時30分~12時
場所 和泉児童館
参加費 無料

障がいのある、お子さんをお持ちのママ達と和気あいあいとお話できたらお子さんのこと ママの気持ちが少しわかって「援助する手立てができるのでは」との思い込みの克服や、子どもが好きななら色々な個性のお子さんを可愛く思われるでしょう。そんな気持ちをママと共有できれば、お互いの安心に繋がると思います。是非お気軽にご参加ください。



〈なんたってママが一番の良き理解者!!〉

ママの声

人と話す、人に話さず、前に進むための大きな助けになる、と今回のステップアップ講座にすごく救われた思いです。自分の子どもの右方麻痺について正直に話せたこと、そして発達障がいのお子さんを持つお母さんのお話を聞いたことで、私自身大きく1歩、前進することが出来たからです。

「親の気付き」には5つのステップがあるらしく、

- 1)何も気づいていない。あるいは気づきたくない、認めたくない、否定。
- 2)疑問「あれ? どうして?」 3)疑惑「もしかすると…」
- 4)気づき「そうなのかしら?」
- 5)受け入れ「じゃあ、こうしましょう!」

私もまさにこのステップを踏んで今に至った。5)に至るまで、なんと6年もの歳月がかかってしまった!でも、この苦悩の6年を乗り越えたからこそ、決してこの歳月はムダじゃなかった、と母親として今、誇らしく思える自分がいます。

サポート会員さんの声

親が障がいに関心、受け入れること、現実を認めるまでの過程が母子ともに、とても苦しいのだと、障がい児を持つお二人のお母様の体験を生の声で聞かせていただきました。時折、涙ながらに熱い思いで母としての心情を語ってくださる姿に感動しました。素直なお気持ちで、ご自身の体験を語られた、お二人の温かいお母様ありがとうございました。「ママと話そう親睦茶話会」に参加して改めて身近に関わる方々に優しい気持ちで「気付いて」あげられるような、パーパになりたいと思います。

ただ今活動中です

素敵な「絆」に支えられ

利用会員 H・Tさん

昨年の4月から、幼稚園の年長になる長女のサポートを、お二方のサポート会員の方々にお願いしております。長女の育休中に次女が生まれ、妻はかれこれ5年弱仕事を離れていました。その間に、長女の進路選択(保育所・幼稚園のどちらにするのか)があり、最後の1年は、妻も仕事復帰し共働きになることがわかっていましたが、教育方針が気に入った近所の幼稚園に入園しました。幼稚園なので、始まりは9時から、お迎えは延長保育をしても17時まで。両親ともにフルタイムの仕事なので、以前からお話には伺っていたファミリーサポートの制度を利用させていただくことに決めました。

毎朝、7時30分過ぎに長女を預けに行くと、まだ子育て中のお母さんなので、ご自身もお忙しい時間帯であるのに、いつもゆったりと迎えてくださいます。少し繊細なところがある長女ですが、「うちの子も、そういうところがあるんですよ」と温かい言葉をかけてくださり、長女も次第にサポート会員さんに慣れていきました。もうお一方のサポート会員さんも、やはり子育て中のお母さんで、夕ご飯前のお忙しい時間帯ですが、長女を迎えに行くと「お帰りなさい」と、まるで家族を迎えてくださるような、いつも柔らかい言葉をかけてくださいます。お二方とも長女が飽きないようにと、様々な工夫をしてくださっています。「きょう、〇〇さん家で〇〇したよ!」と娘から報告を聞くのが親としては楽しみでもあり、そして心穏やかな時間を過ごさせていただいていることに感謝しております。

もし、このファミリーサポートという制度に出会わなかったとしたら、長女は幼稚園での最後の一年を、保育所に転園するところからのスタートとなっていました。また、運良く保育所に入ることができるに限らず、現在のわが家の生活があるのは、ファミリーサポートという制度と、お二人のお優しいサポート会員の方々に巡り会えたからだと思います。「絆」というものが、なかなか形として見えにくい今の世の中ですが、日々この素敵な「絆」のありがたみを感じている毎日です。

毎日嬉しいこと

サポート会員 H・Jさん

サポートセンターに登録後、短期の預かりばかりではなく、1年越しの予定で昨年4月より平日ほぼ毎日、六歳の女の子を幼稚園登園前のお預かり、お迎えとその後の預かりをさせて頂いております。

以前、自分の子供たちが通っていた幼稚園ということもあり、懐かしいプレゼントを頂いたような気持ちでした。

登園時に手をつないでくれた時の感動と自分の子供が登園していた当時のことを思い出し、懐かしく思います。

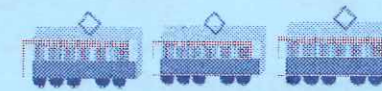
「あのね・・・」とお話してくれる姿を見ると可愛い気持ちでいっぱいになり、自分の子供のような思いで接しています。また、はずかしがりやの我が家の子供たちですが、Kちゃんがいると決まってその横で宿題をしたりテレビを見たりとまるで家族がひとり増えたようなうれしい気持ちになります。

春になるといよいよ一年生です。暖かった頃に戻り外で沢山遊ばせてあげればよかったなど、今になっていろいろ思ったりもします。あとわずかですが、Kちゃんとのかけがえのない毎日を大切にしたいと思います。



こはるちゃん(6才)の絵

平成22年度 全体交流会 を開催いたしました!!!



11月27日(土)、児童館で行われたファミリー・サポート・センター交流会に、利用会員さん、サポート会員さん、地域の方たちの17名の皆さんがお集まり下さいました。(そのうち2組はご夫婦で参加。)会員さんの体験発表を通して、ファミサポの活動におおいに期待と関心をお持ち頂きました。(もちろん、その後説明会にも出席されて利用会員さんとして登録して下さいました!!)

当日は狛江市栄養士会の杉先生がお庭のハーブ・ローズマリーをたくさんお持ち下さり、参加された皆さんは嬉しいお土産をもらってお帰りになりました。ローズマリーは鶏肉料理のスパイスによいと...

狛江に暮らすパパ・ママ・子どもたちのたくさん笑顔を見られますよう、これからもファミリー・サポート・センターが地域で気軽にSOSできる場所でありたいですね。



《会員さんの体験発表に聞き入る皆さん》

2010年度運営委員会のお知らせ

ファミリー・サポート・センターは社会福祉法人雲柱社が狛江市より指定管理者として委託を受け、管理運営しています。センター事務局のある和泉児童館では毎年2回、地域の関係者の方々に児童館の活動を知って頂くために運営委員会を開催しています。2010年度下期は2/9(水)18:45から和泉児童館2階で開催され、センターからも日頃の活動を知って頂くためのご報告をしました。急な援助や病児保育などのニーズにお応えできない現状や説明会などで皆さまから頂くご意見(兄弟割引や30分の料金設定、利用料の助成など)を直接狛江市の担当課長にお伝えしました。おひとりおひとりの声が届く、《子育てにやさしい町一狛江》を目指し、子育てに奮闘している皆さんの声を地域につないでゆく役割をこれからも続けてゆきたいと思っております。

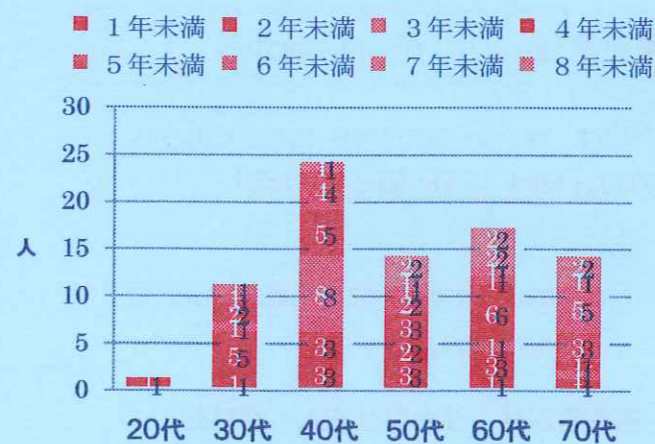
【会員数】(H23. 1. 31. 現在)

利用会員	793名
サポート会員	182名
両方会員	44名
会員総数	1,019名

【援助活動回数ベスト5】(H22.4月から12月)

1. 保育所・幼稚園の迎え及び帰宅後の預かり	858回
2. 保育所・幼稚園までの送り及び送り	548回
3. 保育所・幼稚園の登園前の預かり及び送り	341回
4. 障がい児の援助	245回
5. 学童クラブの迎え及び預かり	231回
活動総件数	3,165回

実際に活動しているサポート会員の年代と活動年数



なかで あやねちゃん(5才)の絵